



# 電子機械設計・製作 II

week 9

社会実装

## 電子機械設計・製作II (3単位: 週2回 6コマ)

Week1	10/3	MVP構想
	10/6	
Week2	10/10	MVP設計・製作
	10/15	
Week3	10/17	MVP設計・製作
	10/20	
Week4	10/24	MVP評価
	10/27	
Week5	10/31	MVP評価
	11/6	
Week6	11/14	MVP評価
	11/17	
Week7	11/21	MVP評価
	12/1	

11/8 - 9  
高専祭

11/26 - 11/28  
後期中間試験

Week8	12/5	MVP評価
	12/8	
Week9	12/12	社会実装
	12/15	
Week10	12/19	改良評価
	12/22	
Week11	1/5	発表会準備
	1/9	
Week12	1/16	開発完了報告書 3月の発表会に向けて調整
	1/19	
Week13	1/23	開発完了報告書 3月の発表会に向けて調整
	1/26	
Week14	1/30	まとめ
	2/2	
Week15	2/13	
	2/16	

1/10  
MIRS発表会

2/4 - 2/10  
学年末試験

## マイルストーン

MVP  
構想

11 / 17

**MVP仕様書**

ユーザーストーリー  
シナリオイメージ  
KPI評価基準を設定

MVP  
設計

12 / 08

**MVP設計書**

設計書（回路、機構）  
部品リスト  
材料、購入品、リンク

MVP  
評価

12 / 22

**評価レポート**

定量評価  
MVP現品会議

社会実装  
評価

02 / 13

**開発完了報告書**

評価シート  
アンケート  
観察記録

## 実施状況

	MVP構想		MVP設計	
	ドキュメント	レビュー	ドキュメント	レビュー
MIRS2501	○	○	×	×
MIRS2502	○	○	○	○
MIRS2503	○	○	○	○
MIRS2504	○	× (承認)	○	×

ドキュメントの名前とナンバリングをもう一度確認

「承認」の欄は**レビューの名前**を記載

図表番号やリンクなどをレビューしてもらう前に自分たちで確認をする

## 評価レポート

各チームPM、TL参集

用意するもの：進捗報告（形式自由：以下を包括）

### 例) MIRS2305 週番サポートプロジェクト進捗報告

- 「週番（日直）の仕事は実は多い！そんな時、ロボットがあなたをサポートします」
- 週番の仕事（課題ノート回収、黒板汚れ判定、御用聞き）をサポート
    - 課題ノートをMIRSが持って先生の部屋まで一緒に移動します
    - 黒板の汚れ具合を画像処理で判定、キレイ度をもとに追加の掃除を指示します
    - MIRSが先生に定期メール連絡。先生からの返信をクラスLINEに転送します

項目	動作シナリオ	優先度	開発状況	備考
課題ノート回収	1. ノートを乗せる	A-1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 乗せる部分完成</li><li>・ ノート40冊走行試験まだ</li></ul>	
	2. 週番マーカーを認識、追従	A-2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ マーカー認識完了</li><li>・ 走行制御調整中</li></ul>	D4教室↔鄭研を想定
黒板汚れ判定	1. 黒板の汚れを認識	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 輝度値計測はOK</li><li>・ 汚れ表現検討中</li></ul>	
	2. 追加掃除場所を指示	C	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 未実装</li></ul>	
御用聞き	1. 授業前日に授業担当教員にメールで御用聞き	A-3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メール送信は可能</li></ul>	○○先生から御用聞きは直接来てほしいといわれた…
	2. 受け取った内容をクラスLINEに転送	A-4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ IFTTTアプレット導入済み</li></ul>	

## 進捗報告補足資料

開発項目毎に、優先度、進捗状況を記すこと

開発項目（要素・機能）はシステム提案書に記載されている項目の粒度で示すこと

優先度がシステム提案書から変更となる場合は、その理由を備考欄に示すこと

### 優先度の定義

A：学内実装実験（or 発表会デモ）で実現する項目

B：製品として必須の項目（Aに加えて）

C：製品の付加価値を高める機能

## 評価レポート

### 目的

進捗状況を評価し、今後の開発方針（最終的にデモ機に実装する機能等）を決定する

### 実施日

2025年12月22日（金）15:00-16:00

### 実施場所

クリエイティブラボ（大型ディスプレイ前）

## 評価レポート

### 実施方法

進捗状況を記したプレゼン資料を用意し、その説明を行う

実現した機能は、可能な限りデモ機で実演すること

準備が出来た班から実施する（各班15分程度）

### レビュー参加者

チームメンバー（PM、Lは必須）

チームリiewer & 主担当（香川）

## MIRS発表会実行委員の選出

担当	MIRS2501	MIRS2502	MIRS2503	MIRS2504	担当教員
演出（4名）	細江	岩月	中村	本間	香川
機材（4名）	木村	橋本	菅田	岡本	小谷
設営（8名）	谷口た 仲下	藤堂 豊田	宮下 佐野	山田 荒	青木 森
広報（4名）	酒井	榑林	針山	乾	大沼

昨年度の演出、機材関係のファイルをTeamsにアップしています

年度内に借用関係書類を出しておきたいので各班でブースの広さ、什器の数などを確認する

## 1-2年生への紹介

**1年生：12/15（月） 14：30くらい**

**2年生：12/16（火） 10：00くらい**

どちらも授業の後に紹介するので時間に間に合うように

どういう紹介にするかこの後話し合いましょう

## カタログ製作

発表会・展示会で冊子配布

- 製品カタログ（システム提案をベース）
- 1チームあたり A4 カラー見開き 2 ページ
- 構成例（右図）
  - できるだけ概念を図式化
  - 写真・絵・図を多用
  - 言葉を吟味

納期：12月25日 23:59まで



## プロモーションビデオ

チームプレゼン+学内外候補で使用する

→ 今年度もビデオ作成を必須とします

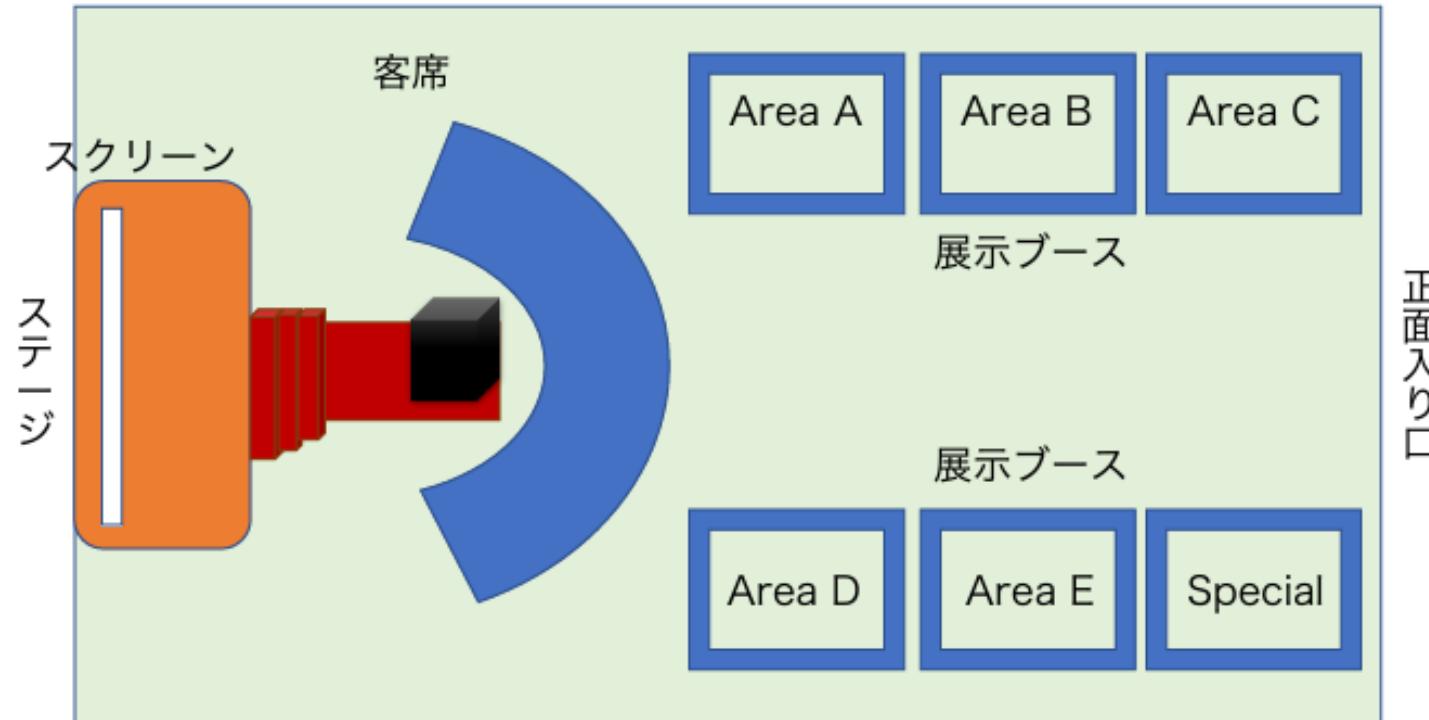
社会実装実験（学内実証実験）につながる、期待感のもてる動画としてください

動画時間は30[s]までとします

使用する音楽・キャラクターの著作権に配慮すること

こちらも12月上旬に改めてアナウンスしますが、計画を進めてください

## レイアウト (案)



来場者：在校生、保護者、一般

## レイアウト例



1チームあたりのスペースは  
4000\*3000[mm]程度  
\*奥方向には伸ばせます

開発を進めてください

部品製作・回路製作・コード実装（プログラミング）を並行して進めること

基本的には作業開始時および終了時にチームミーティングを行う

レビューができる班はレビュワーと相談すること

こまめに **議事録** を取りドキュメントにアップしておくこと

**土日に作業したい場合は早めに相談してください**